

(3) 消防用設備等点検済表示制度管理委員会

当協会では、平成8年7月から発足し、県安全防災局を始め、県内消防機関、防火対象物関係者、消防設備メーカー、当協会職員の15名の委員により構成され、消防用設備等点検済表示制度に係る諸事項について審議、運営している。

平成20年度は、公益法人化に備え、従前の点検済表示の普及啓発の在り方や表示登録会員への研修進め方について検討するため、管理委員会に検討小委員会を設け、今後の在り方について検討した。

小委員会は、9月24日、11月12日、1月23日、1月29日の4回開催され、検討の結果、21年度から、点検済表示利用者への普及啓発費の還元の廃止と普及啓発事務委託を廃止して、新たに、点検済表示の交付手数料の減額改定及び、表示登録会員等への啓発を目的とする地域研修会を開催すること、表示登録制度の実効性を高め、信頼ある点検済表示となるよう点検事業者の消防設備等の点検時に、協会の点検推進指導員が立会う派遣制度を創設することにより、点検済表示制度の実効性を高め、地域県民の安心安全を表す『信頼ある点検済表示』となるよう今後の方向性が提言された。

この提言を受け、平成21年1月29日に開催された点検済表示制度管理委員会において審議の結果、四つの提言が了承され、21年度から協会事業として推進することになった。

回数	開催年月日	場 所	出席者数	備 考
第1回	平成20年 7月23日 (水)	シルクセンター 会 議 室	17 名	議題 1 平成20年度協会事業について 2 公益法人改革について 3 点検済表示の普及啓発について 4 検討小委員会の設置について
第2回	平成20年 1月29日 (木)	シルクセンター 会 議 室	16 名	議題 1 平成20年度消防用設備等点検済表示制度に係る事業推進について

消防用設備等点検済表示制度管理委員会小委員会は、次の5名で構成されている。

なお、小委員会は、今後の点検済表示の価格改定について検討を継続していくことになっている。

(小委員会委員長) 清水 廣司 委員
清水 健男 委員 竹洞 勉 委員
西津 英二 委員 相田 博 委員 (常務理事・事務局長)